

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/小清水和彦

申第3号「南武線ワンマン運転への 安全・安定輸送に向けて」団体交渉開催！

12月11日、申第3号「南武線ワンマン運転への安全・安定輸送に向けて」の団体交渉を開催しました。

2025年3月ダイヤ改正から、南武線は川崎駅～立川駅間においてワンマン運転が開始されます。運転士が安心して乗務するためには、ゆとりある労働条件が必要不可欠です。安全・安心が担保された南武線ワンマン運転の実現に向けて、下記の内容で議論を行いました。

1. 折り返しができる全ての駅で、着発時間を8分以上確保すること。
2. 各駅の乗降扱い時分を、現在の時間より10秒付け加えること。
3. 武蔵中原駅で全列車の停車時分を、1分以上確保すること。

会社の回答は、「検討中で決まっていない」 「お示しできない」の一点張り！

ワンマン運転を実施するにあたり、機器整備やドア開閉扱いを行うため現行の運転時分・折り返し時間・乗り継ぎ時間では余裕がありません！

ワンマン訓練において「登戸駅～武蔵中原駅間2～3分遅れている」「ドア開扉に3秒もかかる」「交代で発車ベルまで15秒かかる」など、実際に遅れた現実から必要な時分の確保を強く訴えてきました。

会社は「現在検討中であり成案になり次第お示しする」との回答に対して、私たちは明確な回答を求めて繰り返し主張しました。

**安全・安定輸送を担う運転士にとって
過度な乗務による負担があってはなりません！
行路で指定される作業内容をしっかりと確認し、
適正な運用であるのか問題点を検証していこう！**